

条例改正等

議案第01号
鶴ヶ島市立教育センター条例の一部を改正する条例について

Q 教育センターが保健センターの2階へ移転するにあたり、行事日程の重複などで、来場者に混乱が起る心配はないか。

A 教育センター所長 事前に行事日程が重ならないよう調整をしていく。また、開催通知等に会場を明記するとともに、入口において、2階が会場であることが分かるよう案内を明示する。



保健センター

議案第09号
市道の路線の認定について

一本松地区地区計画内の計画道路12路線、上広谷第1地区地区計画内の計画道路1路線、寄附採納による道路3路線、都市計画法の規定による帰属道路5路線、合計21路線、延長約1582㍎を市道に認定しました。



平成22年度一般会計補正予算(第4号)及び特別会計補正予算4議案が可決されました。

一般会計

市内公共交通実証運行事業

Q 見直しにあたり、不便であるとの意見に対する対応は。

A 総務人権推進課長 老人福祉センターへのルート等は、乗継ぎをなくし、利用者が不便のないよう見直していく。

南西部区域企業誘致奨励金

Q 支出内容について。

A 産業振興課長 企業誘致条例により、平成14年度から20年度までに指定した22社に対して、固定資産税額相当分を奨励金として3年間交付するもので、今年度は2社を予定している。

女性センター修繕事業

Q 修繕工事の流れと公民館等他の施設の補修計画は。

A 秘書政策課長 工事は、今年度設計し、23年12月の完了を



女性センター

感染症予防対策事業

Q 国の補正予算で交付金が計上されているが、市はどのように対応するか。

A 保健センター所長 国において子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金が計上されているが、県の補助金交付要綱など細部が示されていない。市の補正予算では一般財源で措置しているが、補助金等が交付されれば、特定財源として充てていきたい。

▼12月補正予算の状況(単位:千円)

会計別	補正額	補正後の額
一般会計	137,174	18,494,407
国民健康保険特別会計	172,868	6,295,275
介護保険特別会計	△2,625	2,701,319
一本松土地地区画整理事業特別会計	△13,385	331,650
若葉駅西口土地地区画整理事業特別会計	△23,442	460,128

▼一般会計補正予算の内訳(単位:千円)

歳入(財源)の内訳	補正額
市税	△201,500
地方交付税	718,604
国庫支出金	17,430
県支出金	20,167
繰入金	△410,754
諸収入	△6,773
歳入合計	137,174

歳出(使途)の内訳	補正額
議会費	8,964
総務費	△3,729
民生費	31,881
衛生費	44,845
農林水産業費	△4,327
商工費	7,000
土木費	△11,723
教育費	64,263
歳出合計	137,174

特別会計

国民健康保険

Q 国保団体連合会等負担金の内容について。

A 保険年金課長 来年度レセプト(診療報酬明細書)のオンライン請求が義務化されるため、システムの負担金を支払うもの。

Q 医療費の動向と基金について。

A 保険年金課長 医療費と高額療養費で月約3億円だったが、今年度は約3億5000万円という月もあり、確実に増えている。基金残高が約1か月分あれば安定した運営ができると考えている。

介護保険

Q パンフレットに要介護別の詳しい説明がないのはなぜか。

A 高齢者福祉課長 要介護度は心身の状況や医師の意見に基づき、個別に審査会で決定するため、詳細に要介護度の状態を記載することができない。

つき、個別に審査会で決定するため、詳細に要介護度の状態を記載することができない。

一本松土地地区画整理事業

Q 事業の現状と課題について。

A 区画整理課長 今年3月に区域を縮小したことに伴い、事業の長期化による諸課題を解決した。今後は、換地が変わる約100人の地権者に個別に説明し、了解を得て、今後10年間で事業を予定どおり完了したい。

若葉駅西口土地地区画整理事業

Q 事業の現状と課題について。

A 区画整理課長 総体的には事業は予定どおり進んでいる。今年10月に事業計画を変更し、9年間の事業延伸、事業費の一部削減を行った。50軒強残っている建物移転を順調に進めることが今後の課題である。